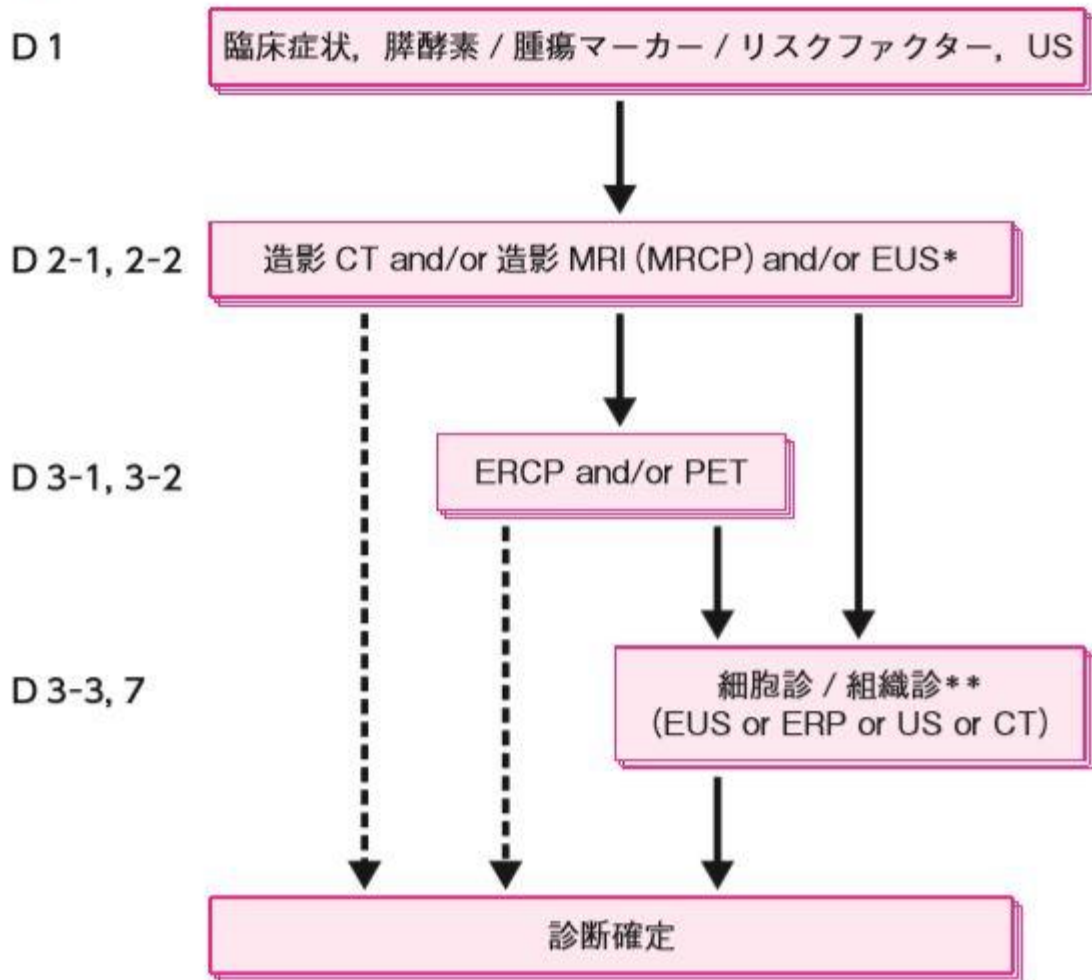




2016年11月
改訂膵癌診療ガイドライン

膵癌診断のアルゴリズム



*EUS よりも造影 CT, 造影 MRI (MRCP) が望ましい。EUS は習熟した施設で行うことが望ましい。

**可能な限り病理診断を行う。

CQ

|| DC 1 膵癌のリスクファクターとは何か？

ステートメント

1. 膵癌のリスクファクターには下記のものがある。

家族歴：膵癌家族歴，家族性膵癌 (DC 2参照)

遺伝性疾患：遺伝性膵炎，遺伝性乳癌卵巣癌症候群，Peutz-Jeghers 症候群，家族性異型多発母斑黒色腫症候群，遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (Lynch 症候群)，家族性大腸腺腫ポリポーシス

合併疾患：糖尿病，慢性膵炎，膵管内乳頭粘液性腫瘍，膵嚢胞，肥満

嗜好：喫煙，大量飲酒

職業：塩素化炭化水素曝露に関わる職業

〔推奨の強さ：なし，エビデンスレベル：膵癌家族歴 (B)，遺伝性膵癌症候群 (B)，遺伝性膵炎 (C)，糖尿病 (B)，肥満 (B)，慢性膵炎 (B)，喫煙 (B)，アルコール (C)，職業 (B)，
合意率：100%〕

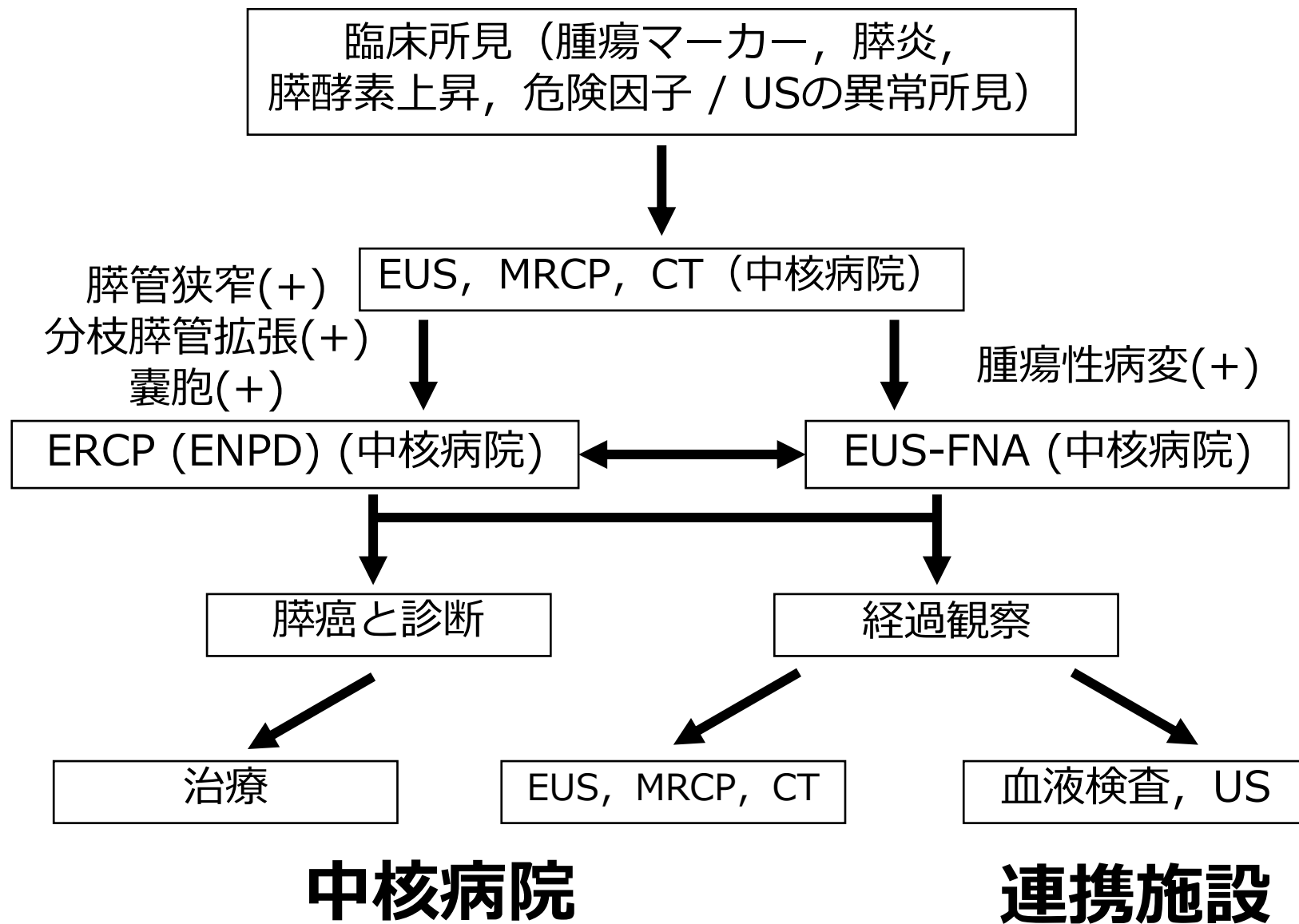
2. 家族歴，合併疾患，嗜好などのリスクファクターを複数有する場合には，膵癌の高リスク群として検査を行うことを提案する。

〔推奨の強さ：2，エビデンスレベル：膵癌家族歴 (B)，遺伝性膵癌症候群 (B)，遺伝性膵炎 (C)，糖尿病 (B)，肥満 (B)，慢性膵炎 (B)，喫煙 (B)，アルコール (C)，職業 (B)，
合意率：100%〕

3. 膵管内乳頭粘液性腫瘍と膵嚢胞は，膵癌の前癌病変として慎重な経過観察を行うことを提案する。

〔推奨の強さ：2，エビデンスレベル：C，合意率：100%〕

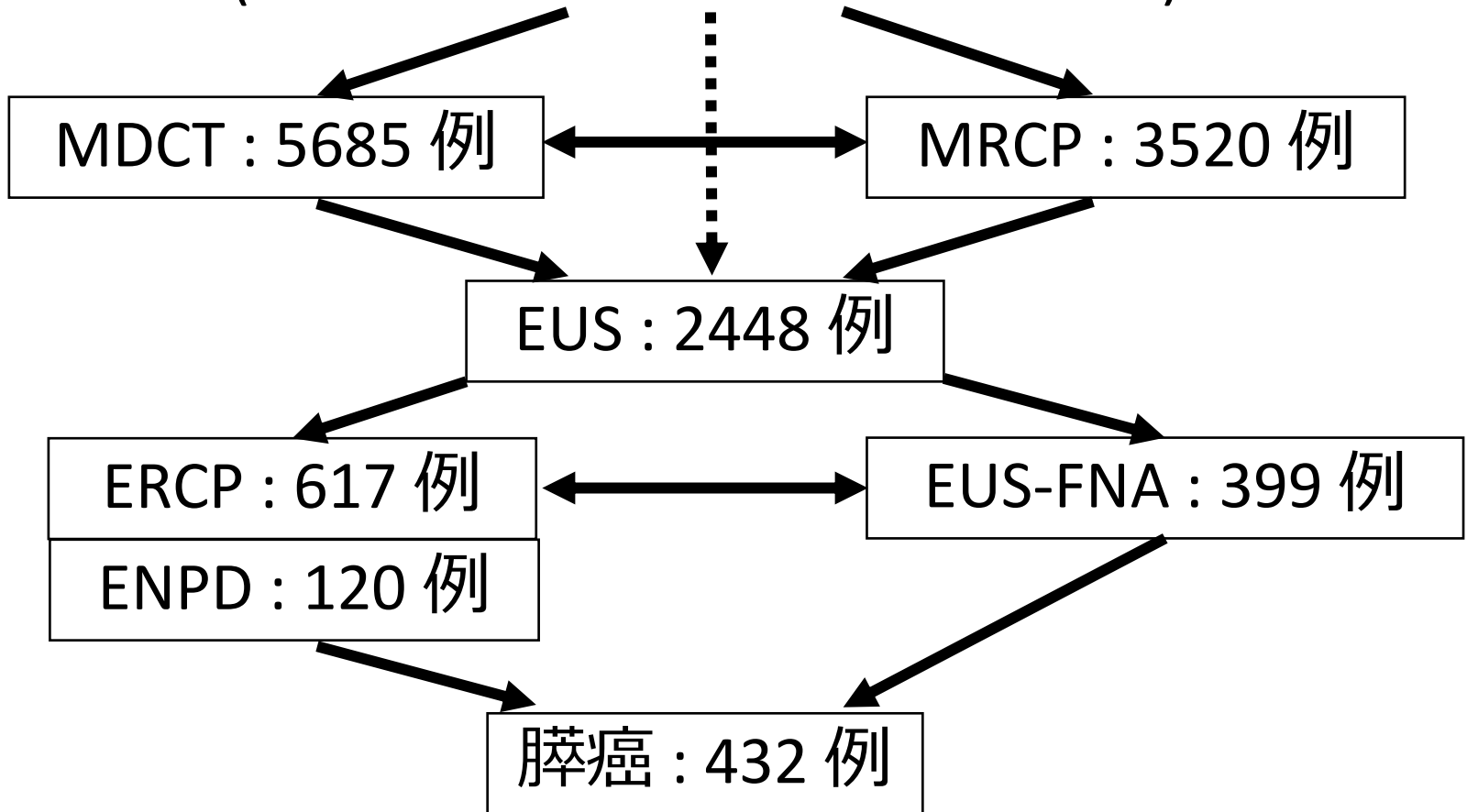
“尾道プロジェクト”



“尾道プロジェクト”

膵癌疑い: 8394 例

(5096 例 : 連携施設からの紹介)



Stage 0 : 18 例

“尾道プロジェクト”

